

アモルファス合金ナノファイバーとその作製法

金属ガラス・ナノファイバー・バルク体をcm単位で、高効率・大量生産可能です。

概要

従来技術として①圧縮試験後の破面に出来る微小な金属ガラスナノワイヤ（特開2010-18878）、②過冷却液体領域まで急速に加熱を行いその後急速冷却しアモルファス状態を維持することによる金属ガラスナノワイヤ（特開2010-229546）があるが、生産性に富んだ製造方法では無いといった課題が存在していた。

本発明は、金属ガラスナノファイバーを大量生産可能な製造方法、及びその金属ガラスナノファイバーに関するものであり、金属ガラスのファイバーが入り組んだスポンジ状である事も特徴である。

効果・応用例

・触媒材料、・センシング材料、・異種材料と組合せ等複合材料

特許データシート

特許番号(整理番号): 特許5988271(日本)
 特許9,132,420(米国)
 特許602012022253.0(ドイツ)
 特許2703101(イギリス)
 特許201280020231.8(中国)
 特許541359(台湾)
 特願2013-7028397(韓国)(T10-106)

発明者: 中山 幸仁、横山嘉彦

実験結果

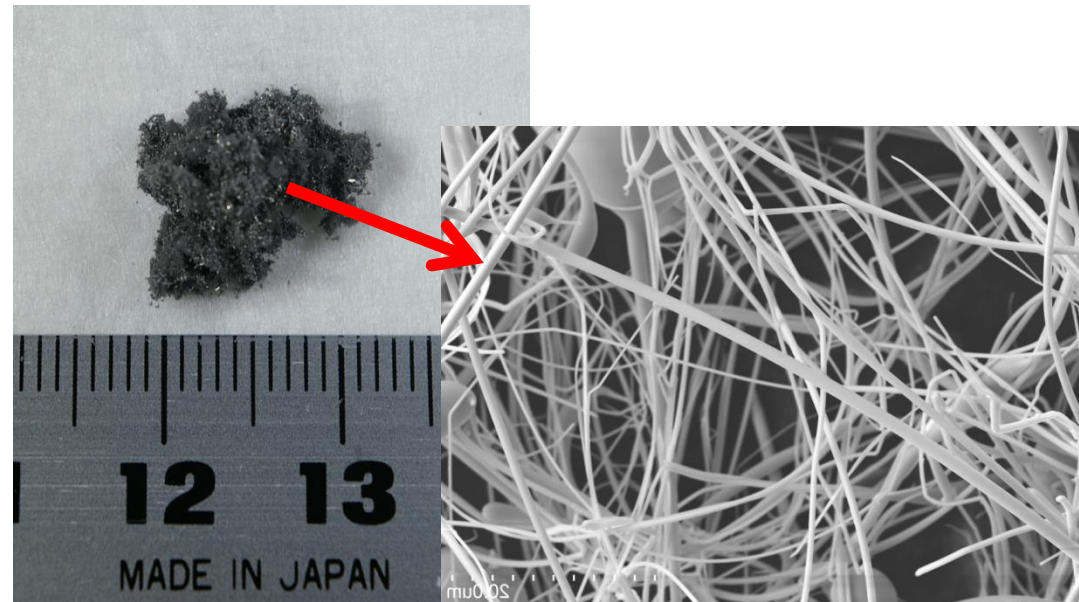


図1. 本発明により作製された金属ガラスナノファイバー

- 大量生産可能
- 現在の市販装置で製造可能
- mm単位～cm単位のバルク体も可能

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ
 TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419
 お問い合わせは、[HP](#) からお願い致します。